

今日のトピック 米国の株式市場 (2016年8月) 堅調な推移が続く米国株式市場

ポイント1 8月も史上最高値を更新

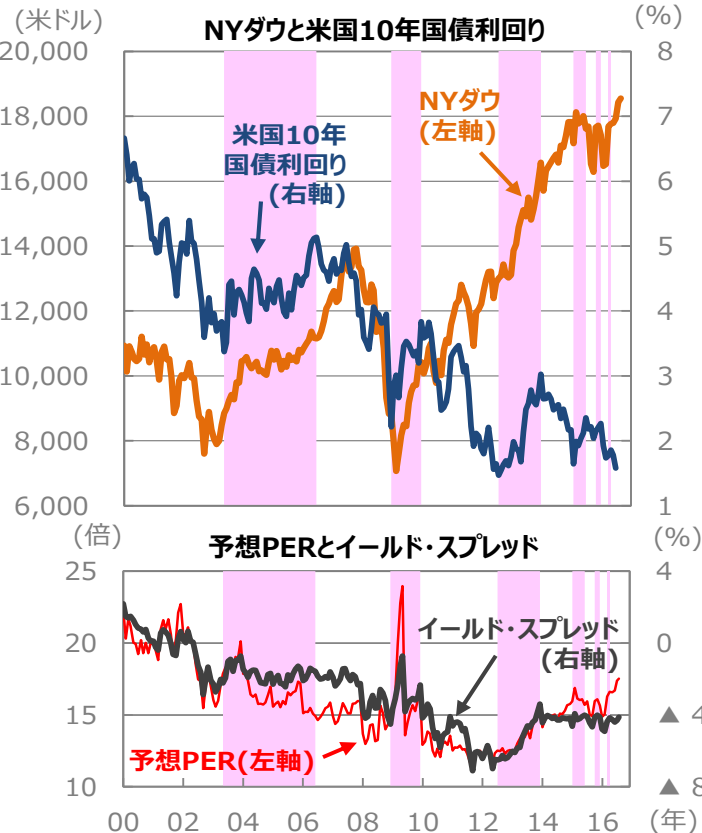
- 米国株式市場は、8月11日に続き、15日もNYダウ、S&P500種指数、ナスダック指数が揃って史上最高値を更新しました。米国経済の先行きに対する安心感、4-6月期の企業業績の底堅さと先行きの明るさ、国債利回りの低位安定、などが市場に安心感を与えているためと考えられます。

ポイント2 PERはやや上振れ イールド・スプレッドにも注目

- 株価が堅調に推移する中、企業収益と株価の関係をみた株価収益率（予想PER）は8月19日に17.5倍となりました。2000年から2016年7月までのPERの平均が15.9倍なので、収益との関係からはやや上振れていると言えます。
- 一方、10年国債利回りと益回り（PERの逆数）の関係を見たイールド・スプレッド（注2）参照）は、2014年以降は低位で安定した推移となっています。債券市場との関係からは株式市場に過熱感はうかがえません。国債利回りが低下する中、金融相場の色彩が強まっています。

今後の展開 堅調な推移が続く見通し

- 今後は利上げの時期など、米国の金融政策に注目が集まりそうです。ただ、米国経済の低位安定成長・低インフレの環境下で、時間をかけたマイルドな利上げが想定され、長期金利の急上昇は想定しづらい状況です。



(注1) データ期間は2000年1月～2016年8月。月末値。2016年8月は19日。網掛けは金利上昇局面。

(注2) 株価収益率（予想PER）は株価÷予想利益、NYダウベース。Bloomberg L.P.の予想。
イールド・スプレッドは米国10年国債利回り－益回り（PERの逆数）。イールド・スプレッドが低いほど株式市場は割安、高いほど割高と言えます。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

- 今後も先進国・地域内で相対的に利回りの高い米国債券市場にマネーが流れ、長期金利は低位で推移すると考えられます。また、原油の安定などを背景に、年後半から来年にかけて企業収益の改善も見込まれます。米国株式市場は金融、業績の両面から堅調な推移が続くと思われます。

ここも
チェック! 2016年8月 8日 米国の雇用統計 (2016年7月)
2016年8月 4日 米国の債券市場 (2016年8月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。